



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

国際ロータリー 第2500地区 第3分区

## Asahikawa Morning Rotary Club

2021～22年度 第1316回 例会報告

例会日：2022年4月7日（木）時間：7:30～8:30

RI会長：

シェカール・メータ（インド）

例会場：旭川アートホテル 通常例会

クラブ活動方針 『困難な今だからこそ』 クラブ会長：井上雄樹・幹事 飯塚 達夫

2500地区ガバナー

ロータリーの素晴らしさを伝えましょう

漆崎 隆（釧路ベイ RC）

## 会長挨拶

みなさん、おはようございます。

4月に入りまして、日中は暖かい日もあり、春が近づいてきたという感じがしております。先週、ワクチンの3回目を打ちました。1回目と2回目はファイザーでしたが、3回目はモデルナです。副反応が強いと聞いていたのですが、それでもなかったです。38度くらいまで熱が出ましたが、すぐに下がりました。市内の感染者数はどういうわけか1数十人程度で横ばいが続いています。先日会長幹事会がありました。そこでもコロナに罹ったという話をされる方もいて、だんだんコロナも日常的なものになってきて、あまり気にしない方も増えているのではないかという気もいたします。経済を回していくためには、コロナを特別扱いしないマインドに変わっていくことも必要なのかもしれません。

さて、今日は最近読んでいる本の話をしていたします。今読んでいるのは行動経済学の本です。古典的な経済学というのは、人間を合理的に考え、合理的に行動するものとしているそうです。しかし、実際は人間は必ずしも合理的な行動をするばかりとは限らないので、心理学や社会学の観点も加えて経済を見てみようというのが行動経済学です。例えば、2,000円の商品と1,980円の商品があったときにたった20円の値段しか変わらないのに、1,980円をすごく安く感じられるのでたくさん売れる、というようなことです。わかりやすくいうとマーケティングのようなものですね。行動経済学の理論の一つに人間は自分のためだけに行動するわけではなく、利益にならなくても他人のために行動することがあるというものがあるそうです。これは、ロータリーで言う超私の奉仕のことだと思いました。行動経済学が学問となったのは最近ですが、ロータリーはそれ以前から同じことを実践してきたのだなと思いました。

本日は、母子の健康について竹村陽一さんのスピーチがあります。

よろしく願いいたします。



## 会務報告

1. 国際ロータリー日本事務局 経理室より、ロータリーレート変更のお知らせ收受。  
\*2022年 4月 1日より 1ドル=122円(3月=116円)
2. 国際ロータリー第2500地区 竹内一秋第3分区ガバナー補佐より、『インターシティミーティング開催のご案内状』收受。  
【日程】2022年 5月21日(土) 登録開始 13時～  
【会場】美瑛町町民センター 多目的ホール『美丘』
2. 今津寛介 旭川市長より、『令和4年度 ごみのポイ捨て禁止運動 春季街頭啓発及びごみ拾い中止のお知らせ状』收受。
3. 旭川市暴力追放運動推進協議会より、『暴力団排除マニュアル』等 收受。

## 委員会スピーチ 「母子と健康月間について」

「母子の健康月間に因んで」

青少年奉仕委員会 竹村 陽一

4月のロータリー特別月間は「母子の健康月間」です。

本日は「母子の健康」について私なりに調べてきたこととお話いたします。

これまで4月は「雑誌月間」だったようですが、2008年国際協議会における、RI会長エレクト 李東建(イ・ドン・ゴン)氏は次期地区ガバナーへ向けて講演を行い、子どもの死亡率を減らすためにリソースを傾けるよう訴えました。

毎日、肺炎やはしか、マラリアといった避けられるはずの病気で命を落とす5歳未満の子どもの数が3万人もいると知り、「信じられなかった」と李(イ)会長エレクトは言います。

「この愕然たる数字の裏にある問題の根源を理解できたとき、私にはやるべきことが見えてきた」と李会長エレクトは、当時のロータリーの協調事項である「水、保健と飢餓、識字率向上」をそのまま引き継ぐことを伝える一方、こうした各分野の活動において子どもに光を当てるよう次期地区ガバナーに、求めたそうです。

次年度のガバナーが就任に向けて研修を受け、意欲を高めるこの国際協議会に

において、李会長エレクトは、ロータリーの力を強調し、世界で最大の善を成すためにリソースを効果的に用いるよう、ガバナーエレクトに呼びかけました。

- ① 五歳未満の幼児の死亡率と罹患率の削減
- ② 妊婦の死亡率と罹患率の削減
- ③ より多くの母子に対する基本的な医療サービスの提供、地域社会の医療／  
保健関係のリーダーと医療関係者を対象とした母子の健康に関する研修
- ④ 母子の健康に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための奨学金の支援



以上の目標と目的を掲げ、2014年10月のRI理事会においてこの特別月間が決定されました。

今、観ていただいたように、ハイチは西半球で母子の死亡率が最も高い国です。

この国で、医療ボランティアと助産師が僻地に住む母と子どもに医療ケアを提供できるよう、医療機器を搭載したジープを寄贈しています。

このように我々の仲間である世界中のクラブや

地区が世界の様々な国、地域で

「母子の健康」に関する様々なプロジェクトを行っています。

ニュージーランドで出産教育に関わっていたある助産師は、「安全な出産についてモンゴルの医療従事者に指導してほしい」との依頼をワイマテ・ロータリークラブから受け、「たった一人でも命を救えるのなら」と活動への参加を決め、新型コロナウイルスの影響から、厳しいロックダウンを打ち出したウガンダにおいては、失業



や移動制限のせいで妊娠中の女性が病院に行けないといった問題が生じ、ルパガ・ロータリーク

ラブが移動手段として救急車を寄贈し、母子をサポートしたなど、様々な記事を目にすることができました。



私たちの暮らす旭川でも市長に就任されました今津寛介氏が、所信表明の「施策の基本的な考え方」の一番目として「女性、子育て、安心都市」を掲げています。そして、この中で市長は「いじめの真相解明、再発防止」に触れ「子育て世代の転出超過」を危惧し、「子育て相談窓口の一元化」「中学生までの医療費の無料化」「子

どもの多様性を尊重する教育の推進」「心のケアを行うための体制強化」そして「子ども食堂への支援」に触れていました。

私は今回、この「母子の健康月間」についてスピ



一ちをする機会をいただき、ロータリークラブの活動を今まで以上に知ることにより、私たちモーニングロータリークラブとしても、この機会に今一度、活動を見つめなおすきっかけになるのではないかと感じる良い時間となりました。

勉強をしていく中で、興味深い動画を見つけましたので、最後にそちらをご覧くださいまして、私のスピーチの終わりとさせていただきます。

## 誕生祝い

### 大久保昌宣会員 (S50/4/12)



記念品をもらう大久保会員↑

↑ 今月の誕生日を発表する桑原親睦  
委員長



\* 旭川モーニングRC 出席報告 \*

\* 本日の出席 第 1316 回 例会 総員 22 名  
4 月 7 日分 出席 20 名  
出席率 90.91%

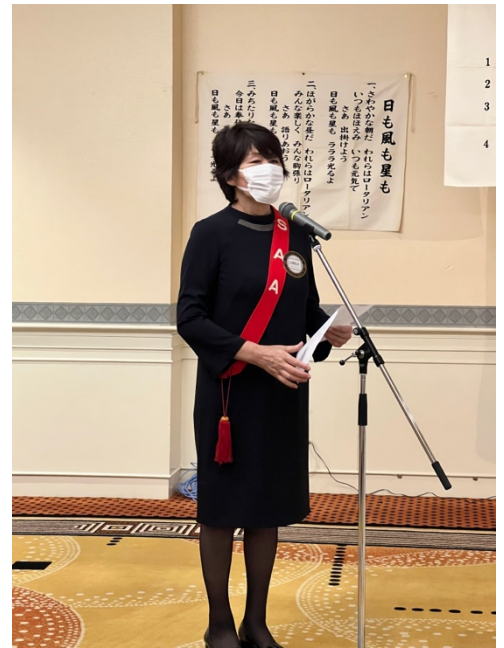
\* 修正出席 \* 3 月 10 日は休会の為、修正出席はございません

\* ゲスト ございません

\* ビジター ございません

\* メークアップ 3/31 坂本信一 (旭川東 RC)

4/7 分 ニコニコ 0 円



↑ 小柳 SAA



↑ 飯塚幹事



↑ 河崎例会運営委委員長